


ICT学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立むつ養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	物語を読もう		
	単元(題材)の目標	・物語を見て、聞いて、大まかなあらすじが分かり、発問に答えることができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	1 年 (6 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> ・重複学級6名の学級である。 ・視覚的な処理を得意としている。 ・問いに対して2～3の単語からなる言葉で話す。 		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad プロジェクター		
	使用したアプリケーションの名称	Safari YouTube		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
ICT活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・言語理解の実態把握を兼ねて、語彙の獲得や言語活動の活性化のために国語の学習の中でICTを活用することとした。 ・全体指示を聞くことが苦手であるため、全体指示を聞いて、話し手(画面)を注視することで情報を得て、内容を理解できるようにYouTubeを活用した。 ・発問に対して、自分の言葉で答えたりすることができるようになるため、YouTubeを活用した。 			
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> ○活用場面 <ul style="list-style-type: none"> ・国語(言語活動の活性化と語彙の獲得のため) ○行った支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを作成し、イラストを付けた。 ・複雑なイラストではなく、見やすいものを選び、動画を活用した。 ○生徒の様子・変容 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートだけでは設問に答えることが難しかった。しかし家庭で日常的に見ている動画であり、なじみがある様子で、画面に集中して見ることができた。 ・動画を活用することで、場面をすぐに戻して内容を確認するために有効であった。教師の言葉掛けは必要だが、画面を見て物語を捉えようとする生徒もいた。内容について理解ができているか、ワークシートで確認しながら取り組んでいる。 ・変化が分かりやすいように、動画教材を活用したり、パワーポイントのアニメーション機能を使ったりして変化が分かるように提示し、学習の理解を深めていきたい。 			

